

葉山町子育て支援センター ぽけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

春の嵐に桜の花も散りゆき、**新緑のまぶしい季節**になりました。生命が動き出し自然が華やぐのと裏腹に、**別れや出逢い**、**身辺の変化**など、**心が揺れる**時期でもあります。みなさんが**心穏やかな日々**を過ごされますよう、お祈り申し上げます。

お子さんが**保育園**や**幼稚園**に通うようになると、手元にいたときのように、**何に笑い何に泣いて何に心を動かしたのか?**みえなくなってきたことを実感することがあると思います。少し**手が離れて**ホッとすると同時に、**やきもき**することも多いのではないのでしょうか。そして**ずっと一緒にいられた**わずかな年月をふり返り、**愛おしく**感じられることも少なくはないと思います。

もう**16年も前**の話ですが、3月に**長女を出産**し、「**なんて幸せなんだろう!**」と**満ち足りた気もち**で子育てが始まりました。**約ひと月**実家で世話になり、自分の家に戻ったのがちょうどこの季節で、**桜を見るたび**蘇ります。**出産したときの幸福感**ばかりがそうそう続くわけではなく、**昼間は二人きりの長い時間**が続き社会から取り残されたようで無性に**孤独感**を感じたり、うまうまかなくて**にくらしく**思えてしまったり、**言葉には表しきれない**たくさんの感情を抱くことになりました。

しかし**自分自身も我が子も**、それを取り巻くいろいろなことが日々変化し、**ずっと同じ状態ではない**こと、そして**子どもへの思い**もどんどん**変化**していきます。とくに入園や入学など、我が子の生活の**ステージが変わるとき**には、**気もちの変化**が大きかったように思い起こされます。「**母親が、自分以外の手に我が子を委ねる**」ことについては、**親**としても、**保育者**としても、**深く、深くその重さ**を感じます。そのときにこそ、我が子への**愛おしさ**はいっそうに増し、守っていかなくては・・・という**気もちが働く**のかもかもしれません。お子さんの**門出**は、親子の絆を深めるためにも**大切なセレモニー**なのかもしれません。まだまだ手のかかる時期をお過ごしのみなさん、門出を迎えるその日を**楽しみに**しながら、**たいへんも愛しさもまるごと、今を味わえる**といいですね!

終わりになりますが、今年度は**広場の開放時間の短縮**という大きな改定がありました。職員一同**気もちが変わらずに、安心して過ごしていただけますようお待ち**していますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

● センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

4月の予定

- ◆ ♪ いいと♪いいと♪
「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30
 <第2第4水曜> **えいご**で遊ぼう (松本ようこ先生)
 <第2第4木曜> おやこ**ダンス** (近ゆきこ先生)
 <第4火> **マニス**お話し会 (丸山さちこ先生)
 <第3金 pm13:30~> **バイオリン**と触れ合おう (山寺ゆか先生)
 ◆ 「0歳児つどいの広場」毎週**木曜** 10:00-11:00

4月の開館時間

- ◆ 休館日 日曜・月曜・祝日
◆ 職員会議 4/20(土)
※**広場・一時預かり**のご利用は**13:00迄**になります

お知らせ
4月から**広場の開放時間**が**9:00~15:00**になりました。ご理解とご協力をいただければ幸いです。一時預かり・子育て相談・ファミサポは**17:00迄**ご利用いただけます。

いいと♪いいと♪
広場の遊びから

広場でファミサポ ♡
ファミサポアドバイザーと水曜日の**ぶち**を担当しています。ファミサポ活動の一部をご紹介します。ときどき**お母さん**から「**ぽけっとの広場はよく遊びにくるので、私の代わりに広場でみてくださいますか?**」と言われる。少しでもお子さんが**不安にならず楽しめる**ようにという想いからでしょう。もちろん、開館時間であればOKです。**支援会員さんと広場で待ち合わせ**て、お子さんが**楽しめる**ように遊んでくれます。
お預かりの朝、**大好きな広場が何か違う!?**とお子さんが**ママの足**にしがみつきのき出すこともあります。でも**支援会員さんはビクともしません**。みなさん自分の子育ても一段落、「**子どもを守る**」という気持ちは人一倍、全身で泣いて全身で笑ういろんな表情を感じとって**あたたかな笑顔**で受けとめてくださいます。**お散歩**に行ったりいっしょに**お弁当**を食べたり、そのうち**お子さんも落ち着いて**少しずつ慣れていつもの**広場**で遊んでお母さんを待っています。

この**春**、家族が**あたらしい環境**になり、**緊張**や**不安**を感じたお母さんにも大きな**助け**となってくれるはず。初めてのおうちに預けるのはちょっと**不安!**?**広場**で支援会員さんと出会い、**次は自宅**というふうに段階を踏まれるのもあります。
預かるだけでなく、**子育てを応援**してくれる支援会員さんを、この春探してみてくださいいかがでしょうか?

◆ 蛭子 陽奈(えびす ひな=ひな先生)ファミサポ & ぶち 担当 ◆

一時預かり
ぶちのお部屋から

「おててぼっちゃん、いただきます!」
ぶちのお屋ごはんは、お散歩から帰ってきて、楽しい**お弁当**の時間になります。みんなの**お弁当**は、いつも**お母さん**の愛情たっぷり、とても**おいしそう**…なのはもちろんですが、すぐ**工夫**してあるなあと思います。**おかず**を**フォーク**で刺して**一口**で食べられる大きさにしたり、**かわい**い**ピック**でそのまま**手で取って**食べられるようになっていたりしているからです。

おかずより**ご飯**を多くして!という**男子弁当**を作っている私からみれば、**なんてかわいい、うつくしい**…と思っています。そして、お母わず「**ワーおいしそう。ひとつちゅーだい!**」という、「**ダメーッ**」といって、**バクッと**にっこり。

お弁当箱は**ピカピカ**(からっぽ)です。ごちそうさまでした!



◆ 森崎 順子(ふじおか じゅんこ=じゅんこ先生) ぶち担当 ◆

ほけっと



♪いつもやさしい眼差しでお子さんを見守ってくださる
支援会員さん♪みな真剣な表情で心肺蘇生・AED操作
などの講習を受けてくださいました♪
とても心強いですね…
ありがとうございました！

支援会員講習&交流会

ほけっとファミリー・サポートセンター



支援会員向けAED講習会を行いました



3月13日、赤十字ボランティアの方を講師に迎え、ファミサポ支援会員
のAED講習会を行いました。日頃の活動内容を考慮して、幼児と乳児の
お人形を準備していただき、心肺蘇生とAEDの使用方法を学びました。
大人の救命講習を受けたことのある方も多かったのですが、子どもへの
救命方法を学ぶことで、より安心して保育に携わることができるのでは
ないかと思えます。救命講習は繰り返し講習することが大事なので、
今後も随時行っていきたいと思います。

ファミサポ支援会員の講習・交流会は、会員さんのスキルアップと情報
交換を目的に年2、3回開催しています。参加者のアンケートからは、
ケガや心のケアについての講習を望む声もありました。今後実施していけ
たらと考えてます。



子のこころ 親のこころ ~子育てをこころの発達から考える~

「いつやるか？今でしょ！」今を、自分を、たいせつに…

某予備校の講師陣が受験生に鞭を飛ばすCMで使われているフレーズ。いかにも
弁が立ちそうな現代文の講師が「…じゃあ、いつやるか？今でしょ！」と力強く
訴えていて、おっしゃるとおり！と妙に納得させられます。勉強をやるべきかどう
かは別にして、今やった方がいいことをいつか後回しにしてしまうことは誰にでも
あります。そして事態は悪化してさらに追いつめられることに…。最近、私が
「今やらなくてもいいか…」とやる気が出なくてグズグズしていると、息子と娘の
どちらからともなく講師の口調を真似て「いつやるか？今でしょ！」という激が
飛んできます。「これじゃあ、どちらが親かわからないなあ…」と情けなくもあ
るのですが、不思議とムツとムツとならないで「今ですわ」と素直に聞けるのが面白
くて、つぎは私もやり返したりしてみんなで合言葉のように楽しんでいます。

私もこれまでじつに様々なことを先送りしてきましたが、あることに気づい
てからは少しずつ「今をたいせつに」できるようになりました。それは「やるべき」
ことではなく「やりたい」ことを意識すること。自然と自分をたいせつにすること
につながって、こころの中で陽性の変化が起きます。人は幼い頃から「やるべきこ
と」をたくさん学びます。とくに大好きなお母さんの言葉や態度を受けとめて、
期待に応えようと自分の「やりたいこと」を我慢してがんばります。もちろん、
自我が成長するにつれて欲求を抑制することはうまくなりますが、早くから欲求
を抑え過ぎると「自分が何を好きでどうしたいか」というアイデンティティを見失っ
てしまいます。思春期や大人になってからこころのバランスを崩す人は、欲求をた
くさん出して受け入れてもらう経験を充分にできないままがんばり過ぎた、つまり
甘えた経験をたくさんしていない人がなりやすい…ということは意外と知られてい
ないようです。私自身、子育てに不安を抱いたのはそういう理由だったと気づいたところから、
自分らしい子育てが始まったと実感して
います。「いつ自分をたいせつにするか？」
「いつお子さんを甘えさせるか？」やはり
「今」でしょ！試してみてくださいね。



Q. ついつい「ちょっと待って！」
と子どもに言ってしまう

A.

「いま！」がお子さんに
いちばん気持ちが伝わりやすい

最初は「ママちょっときて」くらいだったお子さんの欲求が、
その時点で満たされないと、次にもっと欲求が膨らんだか
たちで出てきます。お母さんを困らせたいわけではないの
に、最後には「どうしてわかってくれないの！」と大泣きにな
ってしまうことも…そうするとお子さんも簡単には納得で
きず、ママもどうしていいかわからなくなってしまおうでしょう。

最初は純粋な欲求もエスカレートすると
わがままに見える自己主張になってしまいます

自我が芽生えただけの3歳くらいまでのお子さんは、欲
求を出して認めてもらう自己主張の繰り返しで、自分や相
手を信頼する基本的信頼をもつようになります。それが人
生において人間関係をつくるたいせつな基礎になるので、
まずはできるかぎり純粋な欲求を叶えてあげてください。

それでわがままになる心配はありません
ママの本音「子どもを叱りたくない」をたいせつに